

利用者の皆様へ

来園する際には新型コロナウイルス感染症対策をお願いします。



旅するチョウ・アサギマダラ特集

鳥が南北に長距離を旅するとおなじようにチョウもかなりの距離を旅することが調査で分かってきました。10月は北からの飛来がはじまる月、特集で紹介します。

「沖縄にはアカタテハ、アサギマダラ、ウラナミシジミその他、秋～春にあらわれ、夏季にみられない蝶がいます。共同調査をしませんか」と、1962年に発行された鹿児島昆虫同好会会誌に寄せ書きとして、当時琉球大学の学生だった長嶺邦雄氏が投稿しました。

これがきっかけになり、日本各地でいろいろな方が蝶の移動について調べはじめました。画期的だったのが1980年代に入り大阪自然史博物館を中心としたアサギマダラの翅にマーキングをする方法でした。翅に油性のマジックでマークした人のローマ字のイニシャル、日付、マークした場所を書き込む方法です。インターネットの普及は、マーキング調査を後押ししました。マークした人が記録を公開し、捕獲した方が日付、場所、捕獲した方の名前を投稿する方法でした。結果はすぐにて、調査する方々のやる気にスイッチが入りました。

1980年代に鹿児島昆虫同好会の会員が予想した移動コースにはほぼ合致したのです。今でも全国各地でマーキングの方法で移動調査が行われています。



2017年9月23日に石川県白山市瀬戸(白嶺小)で佐々木亮太郎さんによって「白山 RS02 9.23」でマーキングされた雄の個体は、10月5日、京都市山科区毘沙門堂前の(株)駒井ハルテック山科荘で森本隆さんによって撮影され、10月7日、京都市山科区御陵平林町18安朱の里で島田武志さんが捕獲し「ANN TMS2233 10/7」を追記、11月3日、沖縄県本部町八重岳で松本重陽さんが再捕獲しました。

白山 RS02 9.23

石川県白山→京都→沖縄島八重岳



再々捕獲された個体もありました。2014年8月17日に三船絵里子さんが福島県グランデコで翅に「デコGDM-1 8/17」とマーク→小松綾乃さんが高知県香美市で際捕獲し「AKB 10/16」と翅に追記→沖縄本島本部町大嘉陽林道で松本重陽さんが11月15日に再々捕獲しました。

福島県→高知県→沖縄本島



2014年8月13日にMasuzawaさんが翅に「JET 1520 Fuji 8.13」とマーク、小田島樹さんが10月2日再捕獲し翅に追記、2014年11月23日に松本重陽さんが再々捕獲しました。

山梨県鳴沢村富士林道→愛知県西尾市三ヶ根山 第2展望台下
→沖縄県八重岳



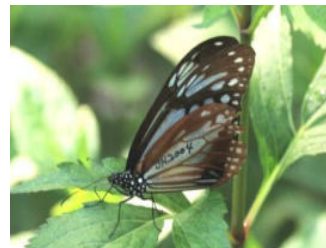
遠く北からの飛来例

山形県蔵王中央→本部町 山ZA0 カン5 8.24
56日、1734km



沖縄から北への移動例

中城城跡→東京高尾山
MH-130 40日1500kmの移動



大國林道→群馬県ON2004 28日1510kmの移動

飛翔距離が長い記録 群馬県利根郡片品村→与那国島宇良部岳 81日、2080km

飛翔日が短くて長い距離の記録 長崎県長崎市→与那国島宇良部岳 3日、1110km

名護城公園ニュースレター **なんぐすく** 2023年10月号

名護城公園管理事務所 〒905-0012 沖縄県名護市名護5511

TEL(0980)52-7434 FAX(0980)52-7477 <https://nangusukupark-osi.jp>

指定管理者 名護中央公園管理共同企業体[タピックグループ]

編集・発行:比嘉正一